

# 環境調和型資源循環社会を目指したリサイクル技術の開発 —アルカリ塩による反応の活用—

# 2023 2/21(火)

## 発表会 14:30~

千葉大学大学院工学研究院  
物質科学コース  
准教授 和嶋 隆昌 氏

近年、日本におけるサプライチェーンの問題が顕在化し、国内での資源循環に注目が集まっている一方で、様々な産業や社会においてSDGsなど地球環境問題への対応が求められるようになってきています。そのような中で、環境調和型資源循環社会の構築に寄与することを目標に、新たな要素技術の開発に関する研究を行ってきました。この講演では、研究室で取り組んできた研究の中から、主にアルカリ塩を用いた廃棄物の処理・再資源化技術について紹介します。

【新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力のお願い】

- ・ご来場の際は必ずマスクの着用および弊所備え付けの消毒液での手指消毒をお願いいたします。
- ・ソーシャルディスタンス確保にご協力ください。

定員 **10名**  
参加費 **無料**

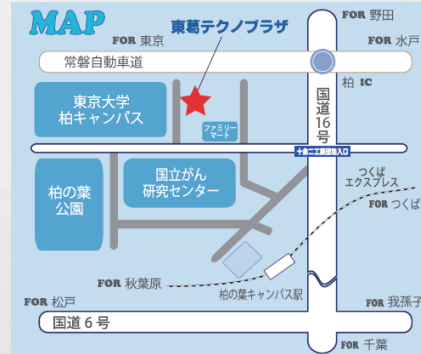
締切 **2023年2月16日(木)**  
FAXまたはE-mailにてお申込みください。

お問合せ・お申込み先  
(公財)千葉県産業振興センター  
東葛テクノプラザ 研究開発課 安原  
☎ 04-7133-0139  
Fax 04-7133-0162  
E-mail [salon@ccjc-net.or.jp](mailto:salon@ccjc-net.or.jp)

主催 (公財)千葉県産業振興センター東葛テクノプラザ

### 場所

東葛テクノプラザ 柏市柏の葉5-4-6  
3階 大学等研究交流サロン



- つくばエクスプレス (TX) 柏の葉キャンパス駅から  
柏の葉キャンパス駅西口から「流山おおたかの森駅」及び「江戸川台駅東口」行で約6分、  
「国立がん研究センター」下車 徒歩約5分
- JR常磐線・東武アーバンパークライン (野田線) 柏駅から  
柏駅西口から「国立がん研究センター」行で約25分、  
終点「国立がん研究センター」下車 徒歩約5分
- 国道16号線 (十倉二工業団地入口) から約3分
- 常磐自動車道柏IC. から約5分

### 参加申込書

企業名 \_\_\_\_\_ 住所 〒 \_\_\_\_\_

職・氏名 \_\_\_\_\_

事前質問・要望(取り上げて欲しいシーズ等) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

参加目的 \_\_\_\_\_ 今後の連携を検討 \_\_\_\_\_ 講師・参加企業との交流 \_\_\_\_\_ 情報収集 \_\_\_\_\_ その他( \_\_\_\_\_ )

### ■ 会社のプロフィール

業務内容 \_\_\_\_\_

得意技術 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ お車のご利用 有 ・ 無

E-mail \_\_\_\_\_ ヘッドライン登録

融資制度や助成金などの支援情報、セミナーや商談会などのイベント情報など、中小企業の皆様に役立つメールマガジン「千葉県産業情報ヘッドライン」を無料で毎週配信しています。登録ご希望の場合は「ヘッドライン登録」を○で囲んでください。【千葉県産業情報ヘッドライン】登録をご希望された方には、東葛テクノプラザ発行のメールマガジン【東葛テクノプラザメールマガジン】を配信させていただきます。

# 環境調和型資源循環社会を目指したリサイクル技術の開発

## —アルカリ塩による反応の活用—

千葉大学大学院工学研究院物質科学コース 准教授 和嶋 隆昌

近年、日本におけるサプライチェーンの問題が顕在化し、国内での資源循環に注目が集まっています。一方で、様々な産業や社会においてSDGsなど地球環境問題への対応が求められるようになってきました。そのような中で、当研究室では、環境調和型資源循環社会の構築に寄与することを目標に、新たな要素技術の開発に関する研究を行ってきました。

この講演では、当研究室で取り組んできた研究の中から、主にアルカリ塩を用いた廃棄物の処理・再資源化技術について紹介し、今後の展開について皆様と議論できれば幸いです。

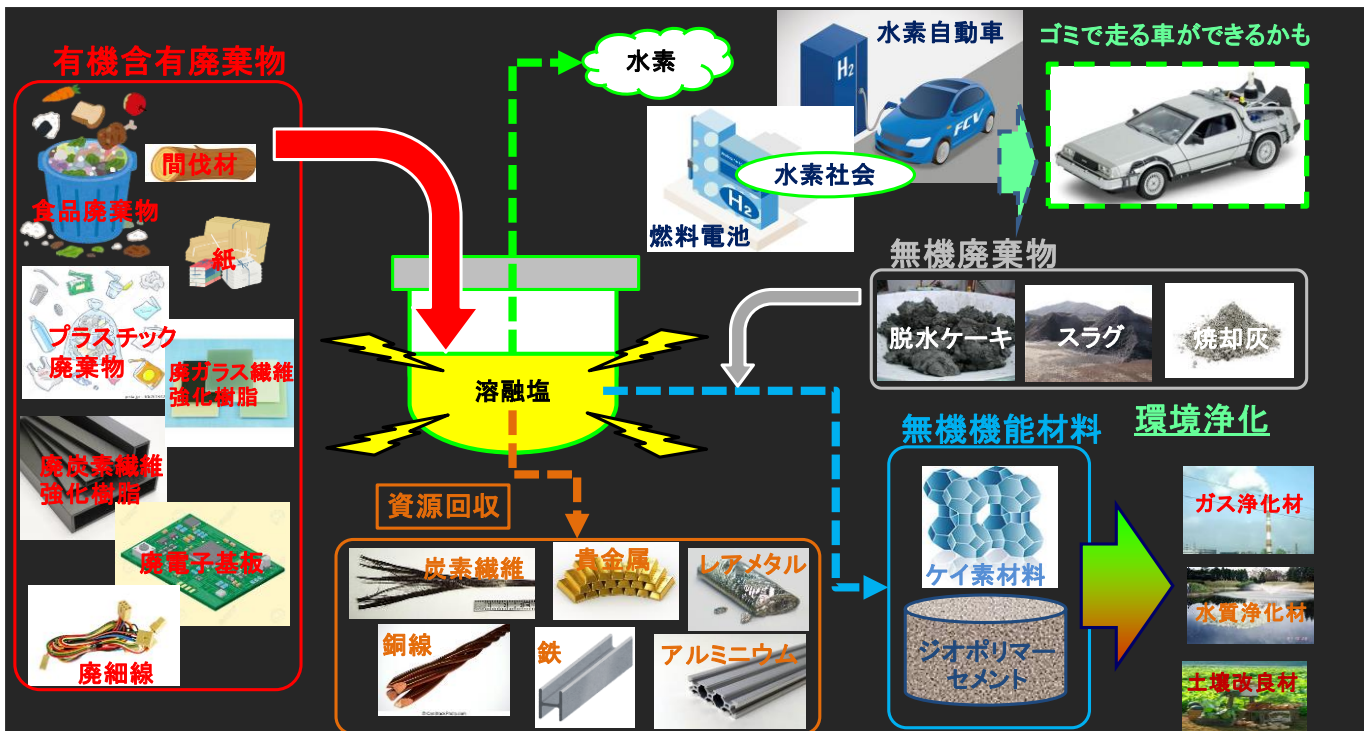


図 アルカリ塩を用いた技術による環境調和型資源循環システム